



日程表 1日目 8月24日(木)

第1会場		第2会場	インタラクティブ会場	福祉機器コンテスト作品展示会場	企業展示	
ENEOSホール (3号館南棟1F)		200 大講堂 (4号館2F)	M202セミナー室 (3号館M2F)	M202セミナー室 (3号館M2F)	M201アトリウム (3号館M2F)	エントランスホール (3号館1F)
9:00 運営スタッフ集合(打ち合わせ)						
10:00 ボランティア集合(打ち合わせ)						
10:00 受付開始 10時30分(ENEOSホールホワイエ)						
			受付後～ 搬入 設置・準備	受付後～ 搬入 設置・準備	9:00～12:30 搬入 設置・準備	9:00～12:30 搬入 設置・準備
11:20～開会式			インタラクティブ展示	福祉機器コンテスト 作品展示	12:30～19:00 企業展示	12:30～19:00 企業展示
11:30～12:30 「自助具」 1-1-1 ～ 1-1-4 座長:岡田 英志 ヒューマン		11:40～12:30 SIGの紹介①				
12:40～13:50 「大会長セッション」 東京大学における インクルージョン推進の動き						
14:00～14:45 「当事者セッション」 1-2-1 ～ 1-2-3 座長:西村 顕 横浜市総合リハビリテーションセンター		14:00～14:50 SIGの紹介②				
15:00～15:45 「特別支援教育①」 1-3-1 ～ 1-3-3 座長:高原 光恵 鳴門教育大学		15:00～16:00 災害対策委員会 特別企画① JRAT災害時福祉用具等調達 支援 研修会マニュアルの報告				
15:55～16:55 「特別支援教育②」 1-4-1 ～ 1-4-4 座長:松田 靖史 川村義肢・大阪大学		16:00～17:00 災害対策委員会 特別企画② 障害者やその支援者は、被災 時に何が出来るのか				
17:00 アフターセッション 自助具、当事者セッション、 特別支援教育①②		災害対策委員会 関係者のみ				
18:00～19:30 市民公開講座 ハンセン病問題から学ぶ —療養所で作り、使われた道 具が伝えるもの— 西浦 直子 国立ハンセン病資料館						
19:00						

日程表 2日目 8月25日(金)

第1会場		第2会場	インタラクティブ会場	福祉機器コンテスト作品展示会場	企業展示	
ENEOSホール (3号館南棟1F)		200 大講堂 (4号館2F)	M202セミナー室 (3号館M2F)	M202セミナー室 (3号館M2F)	M201アトリウム (3号館M2F)	エントランスホール (3号館1F)
運営スタッフ集合(打ち合わせ)						
受付開始 8時30分(ENEOSホールホワイエ)						
9:00	9:00~10:00 <b>コミュニケーション①</b> 2-1-1 ~ 2-1-4 座長:井村 保 中部学院大学					
10:00		9:40~10:40 <b>災害対策委員会 特別企画③</b> ワークショップ 災害対策ワークショップ!ダン ホールでミニテーブルを作ろう ♪				
11:00	10:10~11:10 <b>コミュニケーション②</b> 2-2-1 ~ 2-2-4 座長:田中 芳則 なごや福祉用具プラザ					
12:00	11:20~12:05 <b>コミュニケーション③</b> 2-3-1 ~ 2-3-3 座長:伊藤 和幸 国立障害者リハビリテーションセンター	11:00~12:00 <b>SIGセッション①</b> SIG姿勢保持 「姿勢保持の現状と課題」				
13:00	12:20~13:20 <b>社員総会</b>					
14:00	13:30~14:15 <b>車椅子①</b> 2-4-1 ~ 2-4-4 座長:北野 義明 石川県リハビリテーションセンター	13:30~14:30 <b>国際</b> 2-7-1 ~ 2-7-3 日本からウクライナへの機器支援 座長:森田 千晶 株式会社リハビネス	インタラクティブ展示	福祉機器コンテスト 作品展示	12:30~19:00 企業展示	12:30~19:00 企業展示
15:00	14:25~15:10 <b>車椅子②</b> 2-5-1 ~ 2-5-3 座長:佐藤 史子 障害者スポーツ文化センター ラホール上大岡	14:40~15:40 <b>SIGセッション②</b> 自助具SIG 自助具くらべてみたら ~3Dプリンターを活かすデザイン~				
16:00	15:20~16:35 <b>車椅子/乗り物</b> 2-6-1 ~ 2-6-5 座長:小林 博光 総合せき損センター	15:50~16:50 <b>SIGセッション③</b> 移乗機器SIG 「リフトの基本的使い方と吊り具装着技 術」 [笑顔が見える。一般的な振り袖をリフト を用いて車椅子上で着付け]				
17:00	<b>アフターセッション</b> コミュニケーション 車椅子/乗り物	RESJA臨時理事会 関係者のみ				
18:00	<b>交流会</b>					
19:00						

日程表 3日目 8月26日(土)

第1会場		第2会場	インタラクティブ会場	福祉機器コンテスト作品展示会場	企業展示	
ENEOSホール (3号館南棟1F)		200 大講堂 (4号館2F)	M202セミナー室 (3号館M2F)	M202セミナー室 (3号館M2F)	M201アトリウム (3号館M2F)	エントランスホール (3号館1F)
運営スタッフ集合(打ち合わせ)						
受付開始 8時30分(ENEOSホールホワイエ)						
9:00						
10:00	9:10~10:40 その他 3-1-1 ~ 3-1-3 3-2-1 ~ 3-2-3 座長:中村俊哉 兵庫県立福祉のまちづくり研究所	9:40~10:40 支部セッション (対面のみ)	インタラクティブ展示			
11:00	10:50~11:35 学生 3-3-1 ~ 3-3-3 座長:白銀 暁 国立障害者リハビリテーションセンター	11:00~12:00 インタラクティブ セッション (オンライン)	11:00~12:00 インタラクティブ セッション 3-P-1 ~ 3-P-5 座長:繁成剛 長野大学			
12:00					9:00~16:00 企業展示	9:00~16:00 企業展示
13:00	12:20~13:50 当事者研究 働くことの「当事者研究」 座長:熊谷 晋一郎 東京大学先端科学技術研究センター					
14:00	14:00~15:00 住まいづくり/まちづくり① 3-5-1 ~ 3-5-4 座長:橋本 美芽 東京都立大学	14:00~15:00 SIGセッション④ 車いすSIG 「おもちゃでバズる車いす!」				
15:00						
16:00	15:10~16:10 住まいづくり/まちづくり② 3-6-1 ~ 3-6-4 座長:鈴木 基恵 横浜市総合リハビリテーションセンター					
	アフターセッション その他 住まいづくり/まちづくり					
17:00	16:50~17:20 福祉機器コンテスト表彰式				16:00~ 撤収	16:00~ 撤収
17:20	閉会式					
			16:00~ 撤収			16:00~ 撤収

8月24日(木) 11:30~ 12:30

ENEOS ホール

「 自助具 (4 題) 」

座長: 岡田 英志 (ヒューマン)

演題番号	演者	所属	演題
1-1-1	志智 直人	吉備高原医療リハビリテーションセンター	3D プリンターによる脊髄損傷者のためのプッシュアップ台の製作
1-1-2	一木 愛子	神奈川リハビリテーション病院	自助具箸の補助部品の考案
1-1-3	木幡 茉季	医療法人社団 苑田会 花はたりリハビリテーション病院	半側臥位での Portable Spring Balancer の使用が高位頸髄損傷者のスマートフォン操作獲得に繋がった一症例
1-1-4	田中 芳則	社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団 なごや福祉用具プラザ	就学および学校場面における障害児のための支援機器

8月24日(木) 14:00～14:45

ENEOS ホール

「当事者セッション (3題)」

座長: 西村 顕 (横浜市総合リハビリテーションセンター)

演題番号	演者	所属	演題
1-2-1	土田 浩敬	兵庫頸髄損傷者連絡会	頸損ダイエット
1-2-2	高瀬 裕二		心のスイッチとアクセシビリティ
1-2-3	須藤 優斗		アテトーゼ型脳性麻痺者の住環境整備に関する研究 —不随意運動によって生じる生活上の不便—

8月24日(木) 15:00～ 15:45

ENEOS ホール

「特別支援教育①(3題)」

座長: 高原 光恵 (鳴門教育大学)

演題番号	演者	所属	演題
1-3-1	小林 博光	総合せき損センター 医用工学研究室	機械学習ソリューション MediaPipe を利用した下顎 トラッキングによるポインティングデバイスの開発
1-3-2	高橋 宜盟	有限会社オフィス結アジア	アクセシビリティを考慮した指伝話メモリのコンテンツ
1-3-3	剣持 悟	川村義肢株式会社	盲啞院関連資料の活用について

8月24日(木) 15:55～ 16:55

ENEOS ホール

「特別支援教育②(4題)」

座長: 松田 靖史 (川村義肢・大阪大学)

演題番号	演者	所属	演題
1-4-1	林 園子	一般社団法人 ICT リハビリテーション研究会	ブータン王国でのデジタル工作機械を用いた支援具製作から見るファイル共有の有用性
1-4-2	藤澤 義範	長野工業高等専門学校	点字学習教材の開発
1-4-3	高原 光恵	鳴門教育大学 特別支援教育コース	オンライン授業における白黒反転資料の見やすさ評価
1-4-4	玉垣 努	神奈川県立保健福祉大学 リハビリテーション学科 作業療法学専攻	実験やフィールドワークで困るのはどんなとき?-作業分析-



8月25日(金) 9:00 ~ 10:00

ENEOS ホール

「コミュニケーション①(4題)」

座長: 井村 保 (中部学院大学)

演題番号	演者	所属	演題
2-1-1	中山 剛	国立障害者リハビリテーションセンター 研究所	重度運動機能障害者のためのジェスチャインタフェース(AAGI)の公開
2-1-2	伊藤 和幸	国立障害者リハビリテーションセンター 研究所	意思伝達装置用接点式入力スイッチの作動力とストロークの測定
2-1-3	六名 泰彦	吉備高原医療リハビリテーションセンター	手の動きによるコンピュータ入力デバイスの開発
2-1-4	松尾 光晴	アクセスエール株式会社	小型かつ微細な動きで操作出来る新しい入力スイッチの開発

8月25日(金) 10:10 ~ 11:10

ENEOS ホール

「コミュニケーション②(4題)」

座長: 田中 芳則 (なごや福祉用具プラザ)

演題番号	演者	所属	演題
2-2-1	竹原 一行	日本 ALS 協会 愛知県支部	人工知能 ChatGPT と会話する機能を付加した重度 障がい者用視線入力型意思伝達装置
2-2-2	竹島 久志	仙台高等専門学校	音声喪失を伴う重度肢体不自由児コミュニケーション 発達支援のためのオートスキャン・マッチング練習アプ リの開発
2-2-3	佐々木 千穂	熊本保健科学大学 防災・減災教育支援室	音声喪失を伴う重度肢体不自由児に対するオートスキ ャン・マッチング練習アプリを用いた学習支援
2-2-4	佐々木 千穂	熊本保健科学大学 防災・減災教育支援室	音声喪失を伴う重度肢体不自由児のコミュニケーショ ン発達のための支援機器導入についての検討—4事 例を通じて—

8月25日(金) 11:20 ~ 12:05

ENEOS ホール

「コミュニケーション③(3題)」

座長: 伊藤 和幸 (国立障害者リハビリテーションセンター研究所)

演題番号	演者	所属	演題
2-3-1	井村 保	中部学院大学 看護リハビリテーション学部 理学療法学科	重度障害者用意思伝達装置における付属品の選定状況
2-3-2	渡辺 崇史	日本福祉大学 健康科学部	デジタルファブ리케이션を利用したコラボレーション型オンライン支援機器データベース(SS-AT)の開発 - カスタマイズ機能の実装 -
2-3-3	大恵 克俊	日本文理大学 工学部 機械電気工学科	Arduino を用いた安価な食道発声練習装置の試作

8月25日(金) 13:30 ~ 14:15

ENEOS ホール

「車椅子① (3題)」

座長: 北野 義明 (石川県リハビリテーションセンター)

演題番号	演者	所属	演題
2-4-1	鈴木 太		低床多機能電動車いすの必要性その2
2-4-2	上野 忠浩	横浜市総合リハビリテーションセンター 研究開発課	試行用電動化装置の開発
2-4-3	中村 俊哉	兵庫県立福祉のまちづくり研究所	車椅子使用者が安全に通れる経路案内地図アプリの開発～頸髄損傷者を対象としたプロトタイプアプリの実証実験～

8月25日(金) 14:25 ~ 15:10

ENEOS ホール

「車椅子② (3題)」

座長: 佐藤 史子 (障害者スポーツ文化センター ラポール上大岡)

演題番号	演者	所属	演題
2-5-1	澤田 有希	帝京科学大学 医療科学部 作業療法学科	健常高齢者 7 名のハンドル型電動車いすの試乗体験後のヒアリングから見えた課題
2-5-2	丸岡 稔典	四天王寺大学 人文社会学部	電動車椅子利用者が公共空間で経験する否定的態度
2-5-3	鈴木 健介	株式会社カラーズ	介助者視点によるQOL向上を目指した車椅子「COLORS」の開発

8月25日(金) 15:20 ~ 16:35

ENEOS ホール

「車椅子／乗り物（5題）」

座長：小林 博光（総合せき損センター）

演題番号	演者	所属	演題
2-6-1	芝崎 泰造	株式会社 ミキ	車椅子座位姿勢「アクティブポジション」の有効性
2-6-2	香田 潤	香田事務室	樋下裁判と荒木裁判闘争
2-6-3	高橋 良至	東洋大学 福祉社会デザイン学部 人間環境デザイン学科	ストックホルムで見た生活と支援
2-6-4	高橋 良至	東洋大学 福祉社会デザイン学部 人間環境デザイン学科	スウェーデンでみた支援のためのデザイン
2-6-5	仮屋 孝二	第一工科大学 工学部 機械システム工学科	自動車用ヘッドランプが及ぼす視野情報への影響

8月25日(金) 13:30 ~ 14:30

大講堂

「国際 日本からウクライナへの機器支援」

International Session: Assistive device support from Japan to Ukraine

座長：森田 千晶（株式会社リハピネス）

Chair: Chiaki Morita (Rehapiness Co., Ltd.)

演題番号	演者	所属	演題
2-7-1	斎藤 省  Sho Saito	さいとう研究室 室長 特定非営利法人さくら 車いすプロジェクト  Saito Lab Manager NPO Sakura Wheelchair Project	日本だからできる、国際貢献  International contribution unique to Japan
2-7-2	中村 正善  Masayoshi Nakamura	株式会社 JINRIKI  JINRIKI Co., Ltd.	JINRIKI ウクライナ支援プロジェクト  Ukraine support project by JINRIKI
2-7-3	徳島 泰  Yutaka Tokushima	インスタリム 株式会社  Instalimb, Inc.	ロシア・ウクライナ戦争の影響によるウクライナリビウ 市における義足供給状況の変化  Survey report on distribution situation of prosthetic legs in Lviv, Ukraine due to Russia-Ukraine war

8月26日(土) 9:10 ~ 10:40

ENEOS ホール

「その他(6題)」

座長: 中村 俊哉 (兵庫県立福祉のまちづくり研究所)

演題番号	演者	所属	演題
3-1-1	尾上 弘基	東京大学 先端科学技術研究センター インクルーシブアカデミアプロジェクト	ポータブル 3次元動作解析装置マイオモーションを用いた右下肢切断のチェアスキーヤーにおける大回りの左右差検討
3-1-2	玉垣 努	神奈川県立保健福祉大学 リハビリテーション学科 作業療法学専攻	ポータブル三次元動作解析装置マイオモーションを用いた計測の実用性の検証
3-1-3	石濱 裕規	医療法人社団永生会 研究開発センター	リフト移乗時のストラップ固定位置が利用者の身体に及ぼす影響
3-2-1	難波 邦治	吉備高原医療リハビリテーションセンター	車椅子利用者への転倒・転落通報装置の開発
3-2-2	繁成 剛	長野大学 社会福祉学部	重度障害児用シャワーチェアの開発と評価 第3報
3-2-3	田中 栄一	北海道医療センター	全国都道府県対抗eスポーツ選手権2022での選手の健康状態に関するアンケート調査



8月26日(土) 10:50～ 11:35

ENEOS ホール

「学生(3題)」

座長: 白銀 暁 (国立障害者リハビリテーションセンター)

演題番号	演者	所属	演題
3-3-1	SHRESTH A SUMAN	大阪産業大学大学院 工学研究科 電子情報 通信工学専攻	Web カメラと推論 AI を用いた上肢動作測定の検証
3-3-2	正垣 那奈美	東京大学大学院 新領 域創成科学研究科 人 間環境学専攻 生活支 援工学分野	身体障がい者の建設機械利用を通じた社会参加可能性の検討
3-3-3	長谷川 朝哉	国立障害者リハビリテ ーションセンター研究 所 福祉機器開発部	3D プリント自助具のための組み合わせ設計ソフトウェアのユーザビリティ評価

8月26日(土) 14:00 ~ 15:00

ENEOS ホール

「住まいづくり / まちづくり① (4題)」

座長: 橋本 美芽 (東京都立大学)

演題番号	演者	所属	演題
3-5-1	鈴木 基恵	横浜市総合リハビリテーションセンター	高次脳機能障害者に対する環境整備 当センターのサイン理解度調査
3-5-2	糟谷 佐紀	神戸学院大学 総合リハビリテーション学部	重度障害者間のひとり暮らしに関する相互理解
3-5-3	三上 功生	日本大学 生産工学部 建築工学科	頸髄損傷者の至適温湿度範囲に関する研究 - 中間期、且つ相対湿度 70%での至適温度範囲について -
3-5-4	西村 顕	横浜市総合リハビリテーションセンター	てんかん発作に配慮した新築時の住環境整備

8月26日(土) 15:10 ~ 16:10

ENEOS ホール

「住まいづくり / まちづくり② (4題)」

座長: 鈴木 基恵 (横浜市総合リハビリテーションセンター)

演題番号	演者	所属	演題
3-6-1	天米 穂	株式会社神崎工務店	家族と生活を緩やかに繋ぐ「離れ」の増築 —スマートホーム化で実現する well-being—
3-6-2	植田 瑞昌	国立障害者リハビリテ ーションセンター	障害児にも配慮した誰もが学び楽しめる「動物を介し た社会教育施設」の研究 その1~さまざまな障害児と その家族からみた動物園利用に関する困りごとと提 案~
3-6-3	鈴木 太		八畳和室・床の間を介護リフト付き居室・浴室へ
3-6-4	赤松 智子	佛教大学 保健医療技術学部	京都の名所・旧跡のバリアフリー経路地図

8月26日(土) 11:00～ 12:00

M202 セミナー室

「インタラクティブ (5 題)」

座長: 繁成 剛 (長野大学)

演題番号	演者	所属	演題
3-P-1	高橋 宜盟	一般社団法人結ライフ コミュニケーション研 究所	iPad の視線入力装置とインタフェースに関する考察
3-P-2	巖淵 守	早稲田大学 人間科学学術院	顔スイッチ ～AI による顔のトラッキング機能を利用 した新たなスイッチアプリの開発～
3-P-3	小林 博光	総合せき損センター 医用工学研究室	1入力テレビリモコンの後継2モデル
3-P-4	長束 晶夫	社会福祉法人名古屋 市総合リハビリテーシ ョン事業団 なごや福 祉用具プラザ	競技用補装具マッチング支援の取組
3-P-5	北野 義明	石川県リハビリテーシ ョンセンター	車いす SIG 講習会 50 回開催の経過から見る車椅子 の技術革新と今後の展望